

サステナブルファッションの挑戦： 循環型経済への転換

ファッション業界が持続可能なビジネスモデルへ





ファッション業界が抱える環境課題

- ・大量生産・大量廃棄による深刻な環境負荷
- ・製造工程における水質汚染と過度な水資源の消費
- ・全世界のCO2排出量に占める高い割合
- ・安価な労働力への依存とサプライチェーンの不透明さ

サステナブルファッションとは何か

- 原材料の調達から廃棄まで、製品のライフサイクル全体を考慮



- 自然環境への負荷を最小限に抑える設計思想



- 原材料の調達から廃棄まで、製品のライフサイクル全体を考慮

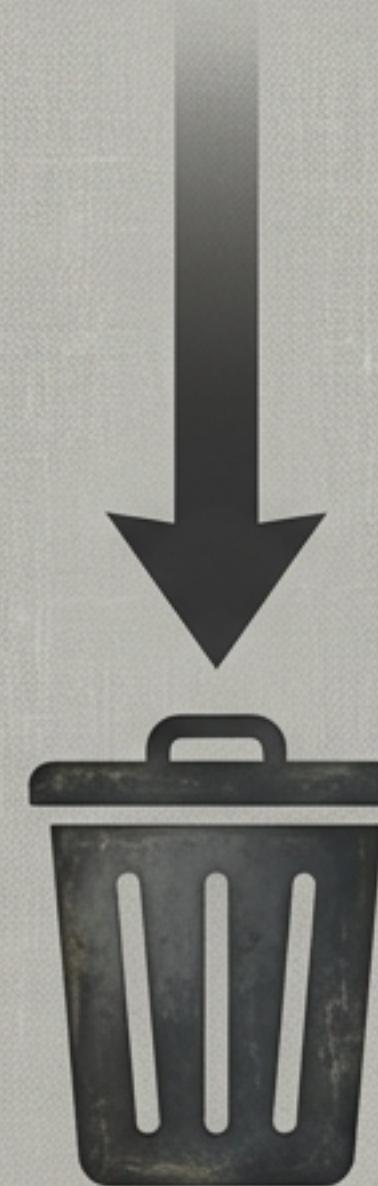


- 労働環境や社会的な公正さ（エシカル）への配慮



- 一過性のトレンドではなく、長く愛用される価値の創出

循環型経済（サーキュラーエコノミー）への転換



リニア型経済（大量廃棄）



- ・「作る・使う・捨てる」から「作る・使う・戻す」への移行
- ・廃棄物という概念をなくし、資源として循環させ続ける仕組み
- ・製品寿命の最大化と資源効率の向上

素材・製造プロセスの変革

- ・環境負荷の低いオーガニック素材や再生素材の採用拡大
- ・設計段階（デザイン）でリサイクルしやすさを考慮する「エコデザイン」
- ・製造時の裁断口ス（端切れ）をなくすゼロ・ウェイスト技術
- ・染色工程における水使用量を削減する革新的技術の導入

リユース・リサイクルの取り組み



- ・回収ボックスの設置と自社製品の回収システムの構築
- ・古着を化学的に分解し、再び纖維に戻すケミカルリサイクルの進化
- ・修理・リペアサービスの提供による製品寿命の延長
- ・異業種と連携したアップサイクル（付加価値向上）の事例

持続可能なビジネスモデルの例

- ・サブスクリプション（定額制）モデルによる衣類シェアリング
- ・レンタルサービスの活用による「所有から利用」へのシフト
- ・ブランド主導の二次流通（リセール）市場への参入
- ・販売量に依存しない収益構造の確立



消費者行動の変化と役割



- ・「安さ」よりも「背景（ストーリー）」を重視するエシカル消費の台頭
- ・一着を長く大切に着ることへの意識変革（スローファッション）
- ・リセールバリュー（再販価値）を考慮した購買行動
- ・企業の姿勢や透明性を厳しくチェックする消費者の目

課題と現実的な壁



- ・環境配慮型素材や新技術導入に伴うコストの増加
- ・複雑なグローバルサプライチェーンにおける透明性確保の難しさ
- ・実態を伴わない「グリーンウォッショ」への懸念と規制強化
- ・消費者の価格意識とサステナビリティの両立

まとめと今後の展望



- ・ファッションは「環境破壊産業」から「環境再生産業」へ進化する責務がある
- ・テクノロジーとクリエイティビティの融合が変革の鍵
- ・企業、消費者、自治体が一体となつたエコシステムの構築
- ・美しさと持続可能性が共存する未来へのコミットメント